

SAKAI



「境町の人口が増えています。」

特集

- 境町×アルゼンチン国際友好交流・・・2～5
- 町の人口増加について・・・6～7
- 学びいいとこ！境町・・・8～10
- 全国からの視察受入報告・・・11
- 各行政区からの要望改善中・・・12
- 「企業版ふるさと納税」に3事業が認定・・・13
- 道の駅さかい開駅20周年・・・14～15



特集 境町×アルゼンチン 国際友好交流

地球の裏側！ 長田小児童6名をアルゼンチンへ派遣



カサ・ロサダ(大統領官邸)の前にて

秋田 凧輝くん 篠原 望さん 齊藤 来愛さん 山本 裕宜くん 齊藤 日榎里さん 菅谷 ののかさん



ブエノスアイレス日本人学校の皆さんと記念撮影

●長田小5年 齊藤 日榎里 アルゼンチンの思い出

私はこの10日間で、たくさん学び、たくさん楽しい思い出をつくってきました。



アルゼンチンに着いた日はお昼からエスコバル日本語学校を訪問しました。生徒はともにスペイン語を勉強している日本語も少し勉強しているそうです。その日はホームステイがありました。ホームステイをさせてくれた家の女の子はスペイン語を話している意味はわかりませんでした。でもなんとなく顔の表情で分かった気がしました。9日はブエノスアイレスの市内見学をしました。はじめに七月九日通りに行きました。この通りは世界で一番広いといわれている道路です。次にピンクハウスに行きました。ピンクハウスの由来は、昔はあまり色がなく白い石灰と牛の血を混ぜてできた色がピンクだったからだそうです。10日は船に乗りました。アルゼンチンの川は少し茶色っぽい色でした。11日は、日本大使と前アルゼンチン大使と一緒にアルゼンチンのテレビに出て、よさこいソーランをおどりました。そのあと、日本人学校へ行きました。お互いの学校を紹介したり、ドッジボールをしたりして交流しました。12日は2つの小学校に行きました。ハボン小学校では、マテ茶の入れ方を教えてもらいました。日亜学院ではエンパナーダを作ったり給食と一緒に食べたりしました。



ホームステイ先の家族と記念撮影

この10日間で私はとても貴重な体験ができました。いつかアルゼンチンで友達になった子達と、また会いたいです。

●長田小5年 山本 裕宜 アルゼンチン派遣事業について

僕は、今回いろいろなことを学びました。一つ目は、五月広場です。五月広場とは、ピンクハウスや大聖堂があります。イベントなどを開く時に、大統領が来たりするところ。二つ目は、七月九日通りです。世界で一番幅が広く、オペリスコという白くてきれいな高い塔もあります。三つ目は、食文化です。肉が中心で、アサド(焼肉)や牛肉を揚げたものがあります。四つ目は、動物です。日本にはない動物が多くて、さくの中に入っていない動物もいました。五つ目は、生活習慣です。あいさつの時にキスをしたり、マテ茶をみんなで回し飲みをしたりすることもわかりました。次に、アルゼンチンで良かったことです。一つ目は、アルゼンチンの人は、やさしくて学校の人やホームステイやガイドの人とても親切でした。二つ目は、自然がきれいなところ。写真で見たときに、南極の所や亜熱帯のところが見えたり。三つ目は、食べ物がおいしいところ。肉やエンパナーダなどが僕はおいしいと思いました。四つ目は、アルゼンチンの人は、親しみやすく、明るい。だから僕はたくさん友達ができました。



ぼくは、今回のアルゼンチン派遣事業で、いろいろなことを学び、アルゼンチンの良さを知り、アルゼンチンの人と仲良くなりました。これからも、交流が未永く続くといいと思っています。



現地で食べた牛肉

●長田小5年 菅谷 ののか アルゼンチンで学んだこと

今回アルゼンチンへ行って、私はたくさんのことを学びました。



ブエノスアイレス市内には、たくさん古い建物がありました。ポカ地区にあるカミニート(小さな小道という意味)は、赤や緑といった色とりどりの建物がならんでいて、とてもきれいでした。また、大聖堂にも行きました。大聖堂の中は、天井が高く音楽を流すと、大きな音がひびいていました。すごく細かい大理石でできているのだそうです。全部手で作ったと聞いて、よくこんなに大きい建物のかべを、昔の人は作れたなあと思いました。

次は、アルゼンチンの食文化です。お肉がとても大きくておいしかったです。日亜学院に行った時は、エンパナーダというおかしをみんなで作りました。楽しみにしていたマテ茶も、道具を使って飲ませてもらいました。とても良かったです。アルゼンチンの人は、苦い時などに、マテ茶にさとうを混ぜて飲むと聞きました。

アルゼンチンと日本の違いは、雰囲気や食事だと思います。日本は、忙しい人が多いようですがアルゼンチンはマイペースでのんびりしているように感じました。日本と違うところがたくさんありましたが、人としての優しさはアルゼンチンも日本も同じだと思います。この派遣事業は、楽しかったし学ぶこともたくさんありました。これからは、みんなに広めて、自分も学んだことを生かしたいです。



エンパナーダ作りの様子

派遣児童感想文 ※一部抜粋

●長田小6年 齊藤 来愛 アルゼンチンへ行って

初めての海外、初めてのアルゼンチン、初めての飛行機、初めてのホームステイ。私は今回の派遣事業に不安な気持ちとワクワクした気持ちでいっぱいになりました。アルゼンチン滞在中は、色々なところを訪問し、たくさんものを見学してきました。学校訪問では、どの学校も私達を歓迎してくれて、アルゼンチンの子達とたくさんふれあうことが出来ました。一緒によさこいソーランをおどったり、ゲームをしたり、とても楽しかったです。なかでも日亜学院の子達に教わりながら作った「エンパナーダ(アルゼンチンのおかし)」はとてもおいしかったです。ブエノスアイレス市内の見学で最も印象的だったのは、ボカジュニアーズのサッカー競技場です。私は境町にあるサッカー場を想像していましたが、アルゼンチンのサッカー場はとても広く、観客席も多く感動しました。



また、初日と最終日には、ホームステイをさせていただきました。どちらのお宅も私達を温かくもかえてくれました。アルゼンチンの食生活や生活、わからないことがたくさんありましたが、皆とても優しく教えてくださいました。今回のアルゼンチン派遣事業では、たくさんの貴重な経験ができました。今後、この派遣事業の経験を生かして、私の将来の夢、世界各国で病気に苦しんでいる人や多くの子供たちを笑顔にしたりしたいです。



ボカジュニアーズサッカー場を見学

●長田小6年 篠原 望 長田小学校アルゼンチン派遣

アルゼンチンは日本の裏側にあります。とても遠い場所ということは何回も調べていたので知っていました。実際に片道30時間かけてアルゼンチンに着いた時は、世界は私が思っているより広く、こんなに遠い国のアルゼンチンと私が通っている長田小学校が80年にも渡り交流を続けていることはすばらしいことなのだと思います。アルゼンチンで印象に残っているところはカミニートというカラフルな町並みです。私が住んでいる境町にもこのようなカラフルな建物があったら楽しいと思いました。また、日本とは逆で、水の流れる方向が右回りに回って流れていくところを見ることができました。そして2回ホームステイを体験することができました。スペイン語はあいさつ程度しか分からないので、伝えたいことはジェスチャーや表情などでコミュニケーションをとることができました。その他にも日本人学校や日亜学院の訪問、アルゼンチンのテレビにも出演し、よさこいソーランを踊ることができました。みんなに喜んでいただけだったので良かったです。



今回体験してきたことを小学校のお友達や先生、家族、近所の人達にも伝えていき、4年後に行われる東京オリンピックのときには、アルゼンチンの人にも境町に来てもらいたいです。私もボランティアに参加して日本の良いところを伝えてあげたいです。



カミニート見学の様子

●長田小6年 秋田 凧輝 アルゼンチンの思い出

アルゼンチンでぼくはとても貴重な体験ができました。1日目は、エスコバル日本語学校でよさこいソーランをおどり、校歌と「サンパ・デ・ミ・エスペランサ」(スペイン語)を歌い、日本語学校のみなさんも、校歌をひろうしてくれました。最後に、ピンポンなどをして、良い交流ができました。2日目は、エスコバル市内観光をしました。花祭りやテマイケン動物園へ行きました。その後、茨城県人会の方々が歓迎会をしてくれました。とてもお世話になったウンベルト小池さんのお家で、歌を歌ったり、バレーボールをしました。ジュースは、日本と同じようにスプライトやファンタオレンジがありました。3日目、4日目はブエノスアイレス市内観光をして、たくさん文化や建築物を見学できました。5日目には、テレビに出演して、よさこいソーランをおどりました。午後には日本人学校を訪問して、学校紹介やよさこいソーランもおどり、最後にドッジボールをして、とても楽しく交流できたと思います。ハボン小学校では、マテ茶の作り方を教えてもらいました。そのあの日亜学院では、一緒にエンパナーダを作って食べました。手作りのエンパナーダは格別でした。



最後に、支えてくれた方々にとても感謝しています。そして、ぼくが体験したことをみんなに伝えていきたいです。



茨城県人会の皆さんによる歓迎会の様子



アルゼンチンのTV番組に出演



日本人学校での交流の様子



エンパナーダ(現地のおかし)作りを体験



アルゼンチンの児童が淹れたマテ茶を試飲



橋本知事を表敬訪問し活動報告



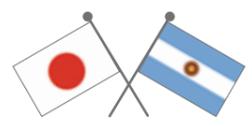
JAPON 小学校での歓迎会



現地の新聞にも掲載!

かけがえのない10日間を過ごす 町では、10月6日から15日までの10日間、長田小学校の代表児童6名をアルゼンチン共和国へ派遣しました。この派遣事業は、1933年より80年以上交流の続いている長田小学校とアルゼンチン共和国とのつながりをより深いものとするために、今年度初の試みとして行われたものです。現地では、4つの小学校や茨城県人会などを訪れ、アルゼンチンの子どもたちとの交流を通してアルゼンチンの歴史や文化を肌で感じました。派遣中、児童たちは、アルゼンチンの家庭でのホームステイを行い、日本とアルゼンチンの生活様式の違いも体験しました。

日本の小さな町からやってきた児童たちのアルゼンチン訪問は、現地でも話題となり、メディアでも大きく取り上げられ、児童たちは現地のテレビ番組に出演し、ソーラン節の踊りを披露しました。今回の派遣は、長田小とアルゼンチンとの交流の歴史の偉大さを再確認できた有意義な事業となりました。また、帰国後は橋本茨城県知事を表敬訪問し、アルゼンチンでの活動報告を行いました。今後はこのつながりを町全体へと広げ、より多くの子供たちをアルゼンチンへ派遣できる環境づくりに努めていきます。



アルゼンチンと長田小の交流 「アルゼンチンの日の集い」

80年以上続く
素晴らしい交流

10月28日、長田小学校において、アルゼンチン大使館よりアラン・ペロー大使およびフェリペ・ガラデラ公使夫妻を招き、第28回となる「アルゼンチンの日の集い」が開催されました。

アルゼンチンと長田小の交流のきっかけは江戸時代末期のペリー来航の際に黒船に乗船していたアルゼンチンの乗組員と当時会談の記録を取った関宿藩士の野本作次郎さんとの交流が縁で、それから約80年後、孫の代でアルゼンチン大使のモンテネグロさんと野本作兵衛さんとの交流が始まり、それ以降、アルゼンチン大使館と長田小学校の交流は今年で82年を迎えます。



**役場にて
歓迎式を開催**
長田小での「アルゼンチンの日の集い」終了後、今年アルゼンチン大使館を招き、町として大使歓迎式典を開催しました。これは、長田小とアルゼンチン大使館との長年にわたる素晴らしい交流を長田小だけでなく、町全体の取り組みとして更に推進するために行われたものです。歓迎式では、大使一行に町の文化に触れていただくため、日本一に輝いたさしま茶の手揉み茶が振舞われ、境町出身の版画家富張広司さんの作品や野菜等の特産物が贈られました。



歓迎式には多くの来賓が出席

2020年



境町は東京オリンピック・パラリンピックの
ホストタウンに登録されています



町は、かねてから交流のあるアルゼンチンとの交流計画を定め、今年6月に、東京オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウン（スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体）として国から登録が認められました。

11月19日にはこの交流事業の一環として、境町民体育館において、町内小学生150名を対象にオリンピック競技種目の一つであるトランポリン競技の実演・体験イベントを開催しました。講師の外村哲也選手は北京オリンピック4位（日本人最高位）を獲得されています。外村選手らオリンピック選手指導のもと、参加した児童は大迫力のトランポリン体験を楽しみました。

今後もこうした交流活動を活発に行い、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて町全体を盛り上げ、アルゼンチン選手団の事前キャンプ地の誘致を推進していきます。



北京五輪で4位の成績を残した外村選手



トランポリンを体験する児童



トランポリン体験の様子

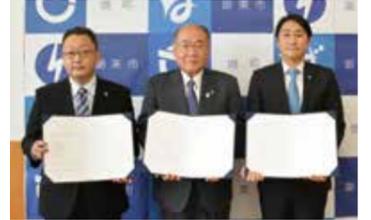
アルゼンチン選手団 誘致に向けた これまでの流れ

1 4月27日、ホストタウン推進協議会を発足（第1回会議の様子）



2 6月14日、アルゼンチンを相手国に境町がホストタウンとして登録決定！

3 9月30日、キャンプ地誘致に向け坂東市、潮来市と包括連携協定を締結



写真左から原潮来市長、吉原坂東市長、橋本町長



アルゼンチンに派遣された児童による活動報告



練習を重ねた歌を大使たちへ披露



児童と手をつなぎ入場するアラン・ペロー大使



長田小フェスティバルを見学したアラン・ペロー大使



児童たちと給食を楽しむアラン・ペロー大使



アルゼンチン代表のユニホームが贈呈されました



アラン・ペロー大使と長田小児童たちの記念撮影

移住定住促進 パンフレット を改訂しました



境町の最新の取り組みや移住・定住者への優遇制度などを盛り込んだパンフレット「いいとこ！ さかいまち」を改訂しました。
また子育て支援ポスター「子育ていいとこ さかいまち」を作成しJR小山駅、JR古河駅、JR久喜駅、東武動物公園駅、春日部駅の構内や、埼玉県の産婦人科などに掲示して境町を県外の方々にPRしています。



JR久喜駅に掲示されている様子

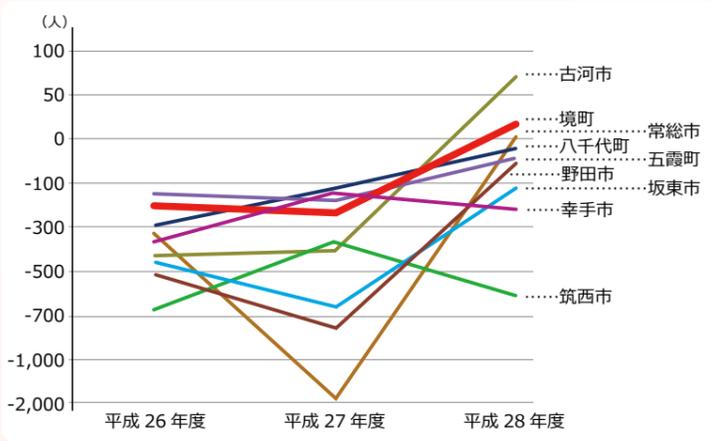


JR小山駅に掲示されているポスターを見ている様子



幸手市にあるクリニックに掲示されている様子

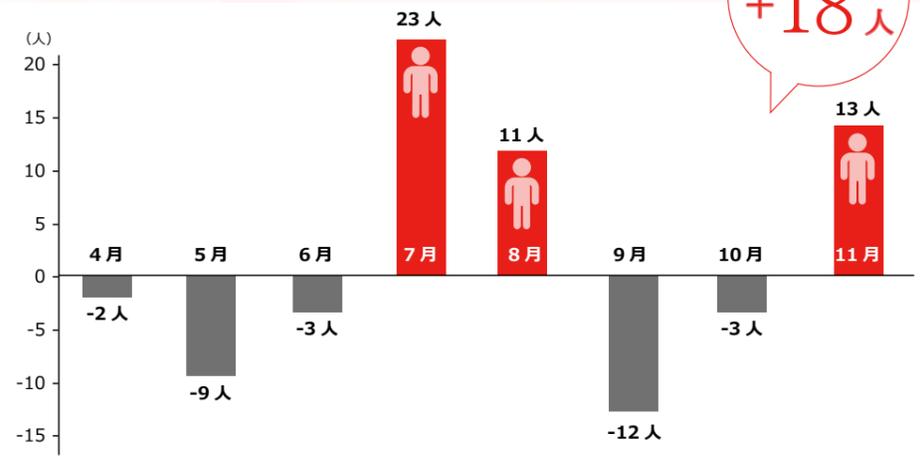
近隣市町の近年の人口動態



市町名	(前年同時期)		平成28年度 (4/1～11/30)	平成28年度 (4/1～11/30)
	平成26年度	平成27年度		
古河市	-457人	-405人	+9人	+67人
常総市	-346人	-1,907人	-1,666人	+2人
筑西市	-698人	-367人	-65人	-608人
坂東市	-485人	-660人	-424人	-106人
八千代町	-306人	-126人	-52人	-43人
五霞町	-146人	-172人	-130人	-58人
野田市	-514人	-743人	-569人	-63人
幸手市	-359人	-133人	+3人	-194人
境町	-219人	-257人	-195人	+18人

※平成28年11/30現在

境町の平成28年度の人口動態（前月比）



近年では、近隣市町人口動態（グラフ左）を見てもわかる通り、全国的に少子高齢化に伴う人口減少が起きています。境町も例外ではなく、毎年200名以上の人口減少に陥っていました。
今年度、境町では、給食費の半額補助や、赤ちゃんクーポン券事業、20歳までの医療費無料化などの新たな支援策の効果により、4月からの総計で、18名の人口増加（グラフ上）となりました。
来春には、日野自動車古河工場の本格移転を控え、社員の方はこれから引越越し先を決めていくところですので、更なる人口増加につながるよう努力していきます。

境町の人口が増えています。
日本中で少子高齢化が進行し、多くの自治体で人口が減り続けている中、境町の人口が増えています。

**住みたい町を
目指して**

町の人口増加について

茨城県内で2自治体のみ

20歳*までの医療費助成
乳幼児医療費助成制度の対象年齢を20歳まで拡充
※18歳～20歳は学生に限る。

支給額全国トップクラス

**紙おむつ等
育児用品の
購入助成
最大3万円支給**
※1歳未満の乳児を対象として、境町の指定薬局で使用できるクーポン券を支給します。

人口増加のため**子育て支援**や
移住定住者向けの奨励金制度など、
様々な取り組みを行っています！

**ふるさと納税
県内ナンバー1
で境町をPR**

**子育て・
新婚世帯の
定住支援**
住宅新築・購入時に
奨励金50万円を交付

なんと！
**給食費半額
3人目は無料***
※同時期に第1子、第2子が小・中学校に在学している場合。

**第3子以降の
保育料無料*
出産奨励金
最大50万円**
※第3子以降の保育料については所得制限があります。



タブレットで作成したイラストを披露してくれた境一中の生徒たち



JICAより派遣された外国人講師との交流授業 (境二中土曜授業)



「つかめる水」を体験する児童(科学で遊ぼう！inさかい)



自分たちで作ったロボットを操作する児童たち (キッズフューチャーキャンプ)



「さかいっ子未来塾」の様子



「さかいっ子未来塾」の様子



外国人講師と書道で交流 (境二中土曜授業)



真剣に課題に挑む児童たち(キッズフューチャーキャンプ)



「スライム」を作る児童たち (科学で遊ぼう！inさかい)

学びいいところ！境町

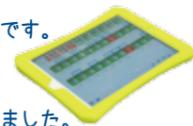
境町では、新しい「学び」にも力を入れています。子どもたちの「想像力」を高め、「創造力」を鍛え、「表現力」を育む様々な取り組みを紹介します。

学びいいところ！境町



キッズフューチャーキャンプ 優秀賞受賞者コメント

- (写真右より) 境小学校4年 田上 双葉さん
「プログラミングがすごく難しかったけど、楽しかったです。」
- 森戸小5年 渡部 明香さん
「みんなで協力して力を出し切ることができて、とても楽しかったです。」
- 長田小学校6年 秋田 風輝くん
「プログラミングは初め難しそうでしたが、やってみると楽しかったです。」
- 静小5年 島根 脩往くん
「頭を使っていろいろとできたので、とても面白かったです。優秀賞を取ってうれしかったです。」
- 森戸小5年 倉田 悠斗くん
「プログラミングは未来にも使えて便利なことだと思いました。優秀賞はすごいものを取ったんだと思いました。」
- 長田小学校5年 関 駿成くん
「今日のキャンプは難しそうだと思いましたが、楽しかったので、これからもプログラミングをやってみようと思いました。」
- 猿島小4年 根本 花蓮さん
「とても楽しくて、寝る時はちょっと怖かったけど面白かったです。」



今年度より、小学生を対象にICT(情報・通信技術)を使ったキャンプを実施しています。今年度は、「世界で1つだけのロボットを動かそう」をテーマに、レゴブロックロボットを使ったプログラミング体験を実施。個人及びチームでロボット

の組立及びプログラミングを行い、様々な課題にチャレンジしました。参加者からは、「プログラミングはとても難しかった。友達とやらなければ成功できなかった」「友達もたくさんできてまた参加したい」などの感想が聞きました。



テクノロジーは未来の友だち「キッズフューチャーキャンプ」



楽しく学び学習意欲を育てる「科学で遊ぼう！inさかい」

今年度12回を迎えた「科学で遊ぼう！inさかい」が、11月13日(日)に境町民体育館で開催されました。このイベントは、科学的な遊びを通して、科学に親しみ、興味・関心を深めることを目的としており、町内各小学校・PTA、境高校科学部

茨城大学、青少年健全育成さかい町民の会、地域の企業及び個人の協力者等18の団体が科学の力を応用した様々なブースを展開しました。当日は晴天に恵まれ、家族連れを含む、およそ600人の参加者で賑わいました。

ふるさと納税を活用！



全小中学校にタブレット端末を導入！WiFi環境も整備！

町内小中学校のパソコン教室のシステム老朽化に伴い、タブレット型パソコンへ端末の入れ替えを行いました。また、同時にWiFi環境を強化し、WiFi環境を生かしたデジタル教科書やデジタル教材の活用によって、児童・生徒の学力の向上を計り、デジタル社会へ対応するため、ICT授業を推進していきます。このタブレット型パソコンは、持ち運びができるため、パソコン教室だけではなく、普通教室で実施される授業でも活用されます。 ※ICTとは……情報や通信に関する科学技術の総称。



境一中・情報科学部部长 枝 祐助くん
「前に使っていたパソコンにはない新しい機能が追加され、今までの機能もより良いものへ変化して、とても使いやすくなりました。まだ慣れていないので大変なところもありますが、これからどんどんタブレットを触って徐々に慣れていきたいと思います。」



境二中で実施！全国モデル授業「土曜授業」

平成28年5月に文部科学省から境町が土曜授業推進事業に関する調査研究調査を委託され、境第二中学校で実施しています。教育環境(学習機会)の提供と外部人材等の活用を通して学力の向上を目指しています。英語科では「JICAとの交流」、社会科では「地域から学ぶ防災教育」、理科では「ミュージアムパーク茨城県自然博物館と博覧の授業等を取り入れること」で、保護者や地域の方々との協力体制の構築も図っていきます。



放課後・土曜も学びのチャンス「さかいっ子未来塾」

今年度よりスタートした「さかいっ子未来塾」は、児童生徒の学びの機会を広げるために、放課後や土曜日に自主学習の場を提供するとともに、内容に応じた多様な支援人材のネットワークづくりを目指しています。町内の小学校四年生から六年生の児童及び中学生の希望者が対象で、一般公募の学習支援員が宿題や自主学習への支援を行っています。小学生は放課後に各学校の図書室等で週二回、土曜日はふれあいの里の会議室で月二回実施しています。中学生は各学校で放課後のみ週一回実施しています。

今、境町が熱い！ 視察受入報告

全国の自治体や
議会が視察に
訪れています。

現在、境町の様々な取り組みが評価され、全国の自治体や議会が視察や研修に訪れています。

香川県綾川町議会は、昨年の関東東北豪雨災害時の災害対応について研修を行い、また、今年2度の視察を行った神奈川二宮町は、町の子育て支援策を中心に研修を行いました。

町の取り組みが全国から注目を集めています

さらに、今年9月に友好交流都市協定を結んだ佐賀県みやき町や、国を越えて、マレーシア地方公務員視察団の皆さんも境町を訪れています。

今後も各種団体の視察研修が予定されており、全国、また世界からも境町への注目が高まっています。

日程	自治体・議会・団体名
6/16	佐賀県みやき町 総務課企画調整課、(株) plan
7/20	岩手県軽米町議会 総務教育民生常任委員会
8/6	熊本県山鹿市議会 市民福祉常任委員会
8/8	神奈川県中井町、二宮町、大磯町議会女性議員
8/24	マレーシア地方公務員視察団
10/12	牛久市都市計画課、地方自治研究機構、ジック (株)
10/20	佐賀県みやき町 産業建設常任委員会
11/14	八千代町議会
11/15	香川県綾川町議会 神奈川県二宮町議会 (11/15・16)



リノベーションされた文化村を視察する二宮町議会の皆さん



日本蕎麦を食べるマレーシア地方公務員視察団の皆さん



近未来の乗り物「セグウェイ」体験の様子



「にこにこ児童クラブ」を視察するマレーシア公務員の皆さん



人工芝のサッカー場を見学する二宮町議会の皆さん



道の駅を視察するみやき町職員の皆さん



「日本一の手揉み茶」を試飲するみやき町議会の皆さん



災害について研修を行った綾川町議会の皆さん



視察に訪れたみやき町議会の皆さん



視察に訪れた軽米町議会の皆さん



タブレットを使用した授業の様子 (春日学園：つくば市)



授業の様子 (春日学園：つくば市)



学校説明を受ける視察研修参加者の皆さん (春日学園：つくば市)



視察研修参加者の集合写真 (新治小学校：群馬県みなかみ町)



視察研修参加者の集合写真 (陽光台小学校：つくばみらい市)



開放的な室内空間 (春日学園：つくば市)



境高で授業を行ったベンソンさん (麗澤大学大学院経済研究科修士2年・ケニア共和国財務省職員)



扉等の仕切りが無く明るく開放的な教室 (陽光台小学校：つくばみらい市)



木のぬくもりを感じる校舎 (陽光台小学校：つくばみらい市)

教育視察研修者
境第一中学校 逆井昇 校長



「既存の教育にとらわれることなく、新たな教育活動に挑戦している点や、職員に対しての校内研修体制が、論理的思考力を育成し、全職員が同じ歩調で進むように徹底されている点が素晴らしいと感じました。」

先進地に学ぶ
「教育視察研修」

町および町教育委員会では、教育に関する各地の先進事例を町の教育に生かすため様々な場所で視察研修を行っています。

12月13日には、小中一貫教育の先進校であるつくば市立春日学園義務教育学校で、論理的思考力の育成や、タブレット端末を活用した授業の視察を実施し、つくばみらい市立陽光台小学校では、木材を多用し、木のぬくもりを重視した明るく開放的な学校施設を視察しました。

また、12月16日には、群馬県のみやま町教育委員会を訪問し、中学生の海外派遣事業について視察を行いました。

町では、今後も様々な先進地を視察し、子どもたちに最新の教育の機会を提供できるよう努めていきます。



境高校2年 木村 汰知さん

「外国から見ると自分達が当たり前と思っていることが、当たり前ではないと解りました。ベンソンさんは10年後、ケニアで中心人物になる程の人だと知り、偉大な人が境高に来たのだと驚きました。」



境高校2年 町田 ゆいさん

「今までは何気なく使っていたエスカレーターやトイレのホット便座など、外国人のベンソンさんから見たら日本はすごい技術が発達していると言っていたので、改めて日本の技術力の高さを感じました。」

麗澤大学×境高等学校
「高大連携授業」

12月6日、茨城県立境高等学校にて、町と包括的連携協定を結んでいる麗澤大学との高大連携授業が行われました。

初の試みとなる今回は、ケニアからの留学生で、麗澤大学大学院経済研究科修士2年の、セネルワ・ベンソン・イゲサさんが境高校を訪れ、2年6組を対象に、「ケニアから見た日本」をテーマに英語での授業を行いました。また、境町の政策アドバイザーでもある同大学の徳永澄憲教授も通訳として参加され、境高校の生徒たちは興味深く授業に聞き入っていました。

今後、高大連携を促進していく上で、相互理解を深めるための有意義な機会となりました。

学びいいとこ！境町

まち・ひと・しごと創生

「企業版ふるさと納税」に 町が申請した3事業が認定

企業版ふるさと納税とは？

国が認定する地方公共団体の地方創生事業に対し企業が寄付を行うと最大で寄付額の約6割相当額の法人関係税で軽減される制度です。

3事業合計総事業費
2億6,200万円
(全額企業負担)

事業1 「エコカル・ディストリクト」構築事業

事業費 9,850万円

文化村の各施設をリノベーション(改良)します！

町民に長く親しまれている「文化村」を今後も文化交流活動・人々のふれあいの場としていくため、環境にやさしい資材を用いてリノベーションを行い、文化・スポーツ、環境分野の中心地区として活用していきます。併せて、環境分野や最先端技術の導入の取組を内外に宣伝するためのイベントを併せて開催し、町外からの来訪者を増やしていきます。



事業2 「来て！見て！感じて！さかいまち」構築事業

事業費 1億4,600万円

国内外で境町の魅力をアピールしていきます！

町の強みである歴史文化や名産品などをPRするため、圏央道がつくば方面まで開通し、成田空港と直結することを利用して、花火の打ち上げや名産品の試飲・試食などを行う「境町ウィーク」をハワイで開催します。また、町の特色を活かした新たな観光ルートをつくり、国内外を問わず様々な地域から町への来訪者を増やし、地域の活性化につなげていきます。



事業3 中心市街地空き家・空き店舗再生活用事業

事業費 1,750万円

空き家を活用して町を活性化します！

町への移住・定住を希望される方を中心市街地に呼び込むため、リフォームした物件をモデルハウスとして活用することを条件に、空き家・空き店舗のリフォームを町がお手伝いします。また、空き家・空き店舗所有者に対して、空き家・空き店舗の活用を総合的にアドバイスすることにより、最終的に民間が自主的に中心市街地の空き家・空き店舗の活用が行えるようになり、まちが活性化していくようなサイクルを形成します。



行政区長
さんを通して
ぜひご相談
ください

各行政区からの 要望を随時改善中

CAUTION 下砂井：道路舗装整備
道路が劣化し危ない

工事発注
済



経年劣化し、傷んでいる道路の舗装を整備します

CAUTION 陽光台：生活圏道路整備
通行ができず不便！

工事発注
準備中



道路を開通させ、大通りへのアクセスを快適に

CAUTION 伏木南部：歩道整備
通学路を安全に

工事発注
準備中



児童生徒の安全のため通学路の歩道を整備します

CAUTION 下小橋：側溝整備
安全で快適な道路へ

工事発注
済



老朽化した側溝を整備し、段差も解消します

CAUTION 百戸：歩道整備
通学路を安全に

工事発注
準備中



児童生徒の安全のため通学路の歩道を整備します

CAUTION 伏木中部：歩道整備
通学路を安全に

工事発注
準備中



児童生徒の安全のため通学路の歩道を整備します

要望に応じた
安全対策を
実施中です！



安全な道路で
快適な暮らしを

町では、各行政区の区長さんを通して提出される要望書などの町民の皆さんの声に応え、通行の危険な道路の整備や経年劣化した道路の補修、児童生徒の通学路の歩道整備などを随時行っています。

町民の皆さんが、安全な道路環境でより快適に暮らせるように、少しずつでも確実に要望を実現し、皆さんの暮らしの中の「不便」を改善してまいりますので、ぜひ皆さんの感じる「不便な場所」や「危険な場所」を、行政区長さんを通して町に相談してください。

町民の皆さんの要望に対し、実現出来るかどうか、また、実現出来ない場合は、その理由も含めて説明を行います。迅速な対応を目指し、奮闘中です。ご理解・ご協力をお願いいたします。

要望改善中

11/19-20 EVENT 3 肉フェス! シュウマイ パーコン串 唐揚げ

肉、肉、肉、肉三昧!

① 最高級豚肉「梅山豚」の国内唯一の生産者「塚原牧場」さんによる梅山豚のシュウマイが登場
② 揚げたての唐揚げをはじめ、パーコン串、肉巻きご飯など、肉好きも大満足

11/26 EVENT 4 赤飯祭り

タガフープは初めて挑戦しましたが楽しかったです。また参加したいです

同時開催 / タガフープ世界選手権 茨城予選大会

タガを回した回数: 238回
優勝 ホペイユンさん

タガフープとは、お醤油を作る大きな木桶を締める竹製の輪「タガ」(直径2m、重さ13kg)をどれだけ回せるかを競う大会

11/27 EVENT 5 そば打ち名人選手権大会

♪ね〜ばね〜ばねばほいさっさ♪

ねばねば音頭

月に1回、宮本町公民館でそば打ちを行っています。今回の優勝もその仲間たちと皆で協力してできた結果だと思っておりますので、とてもうれしいです。

第3回 道の駅さかい そば打ち名人選手権大会

優勝 篠塚 常夫さん

祝 道の駅さかい 20周年記念感謝祭

20th anniversary

売上 3億8千万円 突破!

「道の駅さかい」は開駅20周年! 感謝を込めて様々な記念イベントを開催しました。

11/3 EVENT 1 魚フェス!

さんまつかみ取り

あんこう鍋無料配布

マグロの解体ショー

記念切符

① 漁港より直送された獲れたての極上さんまのつかみ取りに挑戦する子どもたち ② 北茨城市大津漁港のブースで無料で振舞われたあんこう鍋。茨城県を代表する冬の味覚にたくさんの行列ができました ③ 新鮮なメバチマグロの解体ショーを見学する多くの来場者。マグロ三味の即売会も大人気! ④ 道の駅さかい20周年記念切符が発行され、限定300枚(非売品)が無料配布されました

11/13 EVENT 2 野菜の菜典

野菜の詰め放題

フルーツ詰め放題

① じゃがいも、にんじん、玉ねぎ、里芋など、冬の根野菜を中心にたくさんの野菜が100円で詰め放題! ② 袋いっぱい野菜を詰めて満面の笑みの親子。同じ野菜でも詰め方いろいろ ③ オレンジのフルーツ詰め放題も100円でお得!

目頃の感謝を込めて、感謝祭決行!

1月 新春初売り きなこ餅 からみ餅等の販売 2日・3日

2日 限定 新春餅つき大会 11:30~14:00~

3日 限定 新春福袋販売 11:00~ 先着100個限定

ガラポンくじ 1,000円以上購入で、1回抽選

12月 歳末感謝祭 27日・28日・29日

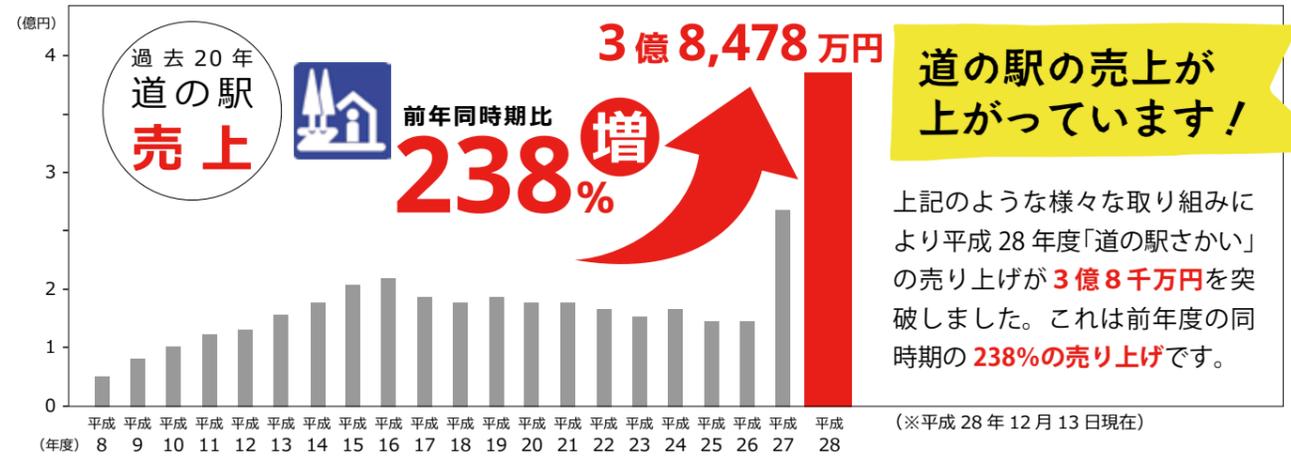
お正月商品の販売

タラバガニ、ズワイガニ、たこ、酢だこ、数の子

餅の販売

こがねの香・巾着こがね餅

28日 限定 高知県産 マグロ販売



10/23

日本語教室ランチフェスティバル

境町中央公民館において国際交流友の会「さ・か・い」主催の、ランチフェスティバルが開催され、日本語教室の生徒など 83 名が国際色豊かなランチを楽しみました。



▲参加者の皆さんで記念撮影

今年はスリランカフェアと銘打ち、チキンカレーや魚のポテトコロッケ、ひよこ豆のサラダ等を、普段とは逆の立場で生徒が先生となって作りました。デザートのスリランカ風プリン日本のものよりも甘みが強く、参加者の皆さんはそれぞれ異国の味を楽しみました。



おいしくできたランチメニュー▶

11/23

第 55 回茨城県茶業振興共進会褒賞授与式

第 55 回茨城県茶業振興共進会（長野元明会長）褒賞授与式が境町のふれあいの里で開催されました。茨城県の茶生産者とその年のお茶の出来を競いあい、農林水産大臣賞ならびに最優秀賞には坂東市のあらき園（荒木準人さん）が輝きました。境町長賞には(有)長野園（花水理夫さん）、境町議会議長賞には飯田園（飯田耕平さん）が選ばれました。

当日は、入賞茶・出品茶の試飲・販売や、茶関連機械の展示等も行われました。



(有)長野園の花水さん（写真左）



飯田園の飯田さん（写真右）

11/10

武井前教育長が瑞宝双光章受章

平成 28 年秋の叙勲で、境町から武井貞男前教育長が瑞宝双光章を受章されました。

武井貞男前教育長は 49 年の永きに亘り、教職員として教壇に立ち境町立長田小学校長として退職された後、教育委員、教育長を歴任され、教育行政の発展にご尽力された功績が認められ今回の受章となりました。



武井貞男前教育長（写真右）

11/25

教育振興のつどい

境町教育委員会は、境町中央公民館にて、「第 15 回教育振興の集い」を開催しました。前半は、教育活動の発表が行われ、児童生徒・PTA 及び先生方ならびに教育委員が、それぞれの特徴ある学校活動や取り組みについて発表しました。また、後半には、芸術・文化分野で優秀な成績を修めた個人及び団体の表彰や青少年健全育成さかい町民の会から善行賞等の表彰が行われました。さらに、今回は宮大工棟梁の小川三夫さんによる「技を伝え人を育てる」についての講演会が行われ、参加者からは「職人の心意気を肌で感じました」等の声が上がりました。



森戸小児童による発表の様子



表彰式の様子



講演を行った宮大工棟梁の小川三夫さん



受賞した審査員特別賞のトロフィー

須永代表取締役（写真左）からトロフィーを受取る栗原さん（写真右）

11/28

ふるさとチョイスアワード 2016

境町が審査員特別賞を獲得！

東京都港区南青山にあるスパイラルホールにおいて、「ふるさとチョイスアワード 2016」が開催され、境町が審査員特別賞に選ばれました。

これは、ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」を運営するトラストバンク（須永珠代表取締役）が、ふるさと納税を通して地域ですばらしい取り組みをした自治体を表彰するものです。61 の自治体がエントリーし、その中からファイナリストとして 7 自治体選ばれました。境町も最終選考にノミネートされ、およそ 100 名の観客の前で、境町役場まちづくり推進課職員の栗原千恵さんがプレゼンテーションを行いました。発表テーマは「全国の先駆けに！ふるさと納税代理受付で熊本支援」。境町は、2015 年 9 月の関東・東北豪雨で被害を受けた際、全国からふるさと納税による支援を受けたことから、恩返しの意味を含め、熊本地震の本震発生から 12 時間後、ふるさと納税の制度を活用した熊本への支援金の代理受付を全国に先駆けて行いました。この取り組みが評価され、今回の特別賞受賞となりました。

私は、ふるさと納税の担当者として、境町が水害で被災したときにも証明書発行など庁舎内で仕事をしていた。その時に本来であれば私も外に出てやるべきところがある。でも、ずっと思っていました。だから、熊本への代理受付の事務をしていこうと、昨年私のように庁舎で仕事をしていたのでなく、少しでも被災した方々のケアに充てられるように取り組みを誇りに思いました。今後はふるさと納税が全国の助け合いのツールとして役割を担ってほしいと思います。



境町役場まちづくり推進課栗原千恵さん

10/30

「花いっぱい運動」



今年で 11 回目となる、境町心身障害児者父母の会による「花いっぱい運動」が開催されました。

当日は、父母の会、境特別支援学校境地区 PTA、NPO 法人メダカの会（放課後等デイサービス事業所「プーさんの家」）から、合計 48 名が参加し、ふれあいの里で芝桜の移植や落ち葉掃除などのボランティア活動を行いました。

◀花いっぱい運動参加者の皆さん

スポーツ

11/10 第44回境町グラウンド・ゴルフ大会結果

会場 ふれあいの里 参加者 204名
 ◆男子の部 上位入賞者
 1位 半村 元伯 (七 軒) 【68打】
 2位 桐原 忠男 (住吉町) 【74打】
 3位 片倉 弘 (山神町) 【77打】
 ◆女子の部 上位入賞者
 1位 鈴木美代子 (旭 町) 【78打】
 2位 石綿すみ子 (蛇 池) 【80打】
 3位 島田まさ子 (住吉町) 【82打】



後列左から桐原さん、半村さん、片倉さん
 前列左から石綿さん、鈴木さん、島田さん

11/29 境町ゲートボール連合会第84回大会結果

会場 ふれあいの里 出場チーム数 7チーム
 優勝 松岡町千寿会
 準優勝 塚崎宝寿会
 第3位 塚崎百楽会 / 山神町



優勝チーム 松岡千寿会の皆さん

12/3・4 第12回境町近隣ミニバスケットボール大会結果

会場 境町民体育館 出場チーム 12チーム
 優勝 MBC長田
 準優勝 松前台ミニバスケットボール少年団
 第3位 古河MBC
 第4位 谷田部南ラッキークローバー



優勝に輝いた MBC 長田の皆さん

寄付

11/14 境ロータリークラブが町へ寄付
 境ロータリークラブ(風見義孝会長)が菜の花フェスティバルの菜の花の種代として5万円を寄付されました。



寄付に訪れた境ロータリークラブの皆さん

11/19 茨城県高圧ガス保安協会猿島地方支部がガスコンロ9台を町へ寄贈
 茨城県高圧ガス保安協会猿島地方支部(風見正一支部長)がガスコンロ9台を寄贈されました。寄贈式に続き行われた「親子ふれあい料理教室」では、新しいコンロを使用して、梅山豚を使ったオリジナル豚まんやみかんゼリーを作りました。



目録を渡す平川副支部長(写真左) 親子ふれあい料理教室の様子

11/28 利根カラオケ連合会が町へ寄付
 11/20 中央公民館において、「利根カラオケ連合会チャリティショー(高橋和男監修)」が行われ、収益金53,687円を教育振興に役立てていただきたく寄付されました。



寄付に訪れた利根カラオケ連合会の皆さん

12/5 センコー株式会社が町へ寄付
 センコー株式会社の役員従業員の皆さんが、教育振興や公共施設・設備の整備に役立てていただきたく100万円を寄付されました。



寄付に訪れたセンコー株式会社の川崎執行役員北関東主管支店長(写真中央)と渡辺茨城住宅支店長(写真左)

俳句

十月十五日 境町文化協会俳句部

兼題 「干柿・赤い羽根・紅葉」他当季雑詠

吊るし柿 雨戸のごとき 山の家 省三
 ※柿の産地といえは会津地方が有名。バスの車窓から目に飛び込んでくる光景のひとつに山の民家の干柿がある。軒下に整然と吊るされた眺めを「雨戸のよさ」と譬えた所が面白い。

照れ乍ら二人でつけし 赤い羽根 ちから
 ※街頭で、行政区で、あるいは各職場で毎年恒例となっている共同募金。協力はしても実際に胸につける人が少ないのは確かだ。照れながらも付ける事で気付く赤い羽根の意義・・・肝心な事なのかも知れない。

承らえて今年も出会う 紅葉宿 信子
 ※還暦を過ぎ、古稀を過ぎ、後期高齢者となつて何年か経った今も在宅の暮らしができる至福。ましてや、紅葉降る温泉宿で安らぎの時を過ごせるなど、老後にとってこれほどの幸せがあろうか。

干柿の揺れて風情な軒の下
 錦秋の 緞帳下ろす 山の神
 吊し柿 律儀に並ぶ 過疎の村
 腰伸ばし トントン叩き 吊し柿
 干柿に 陽のたつぷりと 一文字
 生命あれば こそこの極楽 紅葉の湯
 老ひの背や 丹精込めし 吊るし柿
 目を見張る ばかり十和田の 紅葉かな
 葉にと 一枚拾ふ 紅葉山
 赤い羽根 心ばかりの 寄付をよせ
 胸をはる 愛の証しの 赤い羽根

登 弥 久 香 光 幸 正 譲
 生 子 仁 子 夫 代 六 一

短歌

境短歌会 山鳩

灰色の空から雨が落ちてきて 秋深まりて何故かさみしき 松岡 美智子
 夕日さす 蜘蛛の一張 風にゆれ 石露の黄花に糸揺れ動く 本島 いと子
 足痛し みんなの愛に支えられ 友と和ごみて 運動会に 五月女 三枝子
 菜園の きうりトマトの 棚はずし 空見上ぐれば 鯛雲浮く 鈴木 喜与子
 小春日の 狭庭で生まれ 黒揚羽 何処めさすか 秋空を舞う 桜井 レイ
 しとしと 降る雨止まぬ 暗がりに 花ひらき初む 石路ひとつ 斉藤 敬子
 こおろぎが 思い出すように ころころと ふとんより出る 肌寒き朝 川村 米子
 空の下うす紫の 百日紅 かすかに揺るる 秋呼ぶごとく 風間 リヨ子
 新米にむかご炊き込み 食すれば 故郷香る 亡き父母偲ぶ 川上 ヒサ
 秋の夜の雲にかかりて 見えかくれ 細く小さき 水色の月 稲田 美重子
 今日の日を知りつつ 暮らす 日々なれど いつも変らず だめな歌かな 飯田 俊子

一年の最後の月になりました。北の地方では雪の降る日も多くなり寒さもだんだんと増してきます。忘年会やクリスマス等行事も多く師走という言葉からも何となく歳末の忙しさを感じます。体調管理に気をつけ元気に新年を迎えたいと思います。

「広報さかい」へ有料広告を掲載しませんか？ 広告募集中

広告掲載料 ◎ 1段全枠 15,000円 ◎ 1段半枠 8,000円

※詳しくは下記までお問い合わせください。

問合せ先 役場秘書広聴課 電話 0280(81)1329 E-mail kouhou@town.sakai.ibaraki.jp

あなたの街の 仲人おばさん 紹介

体験入会男女共に 3ヶ月→5,000円 ※公的書類提出可能な方

★お見合い後交際に入った場合は希望により正式入会に進みます。

結婚相談室チャペルの代表遠藤明美と申します。真剣に結婚を考えられている方のみご相談ください。全力でお手伝いいたします。この道19年、仲人の達人!!! 今すぐ・・・完全予約制 ☎0280-30-7070 〒306-0011 茨城県古河市東3-5-13 イトーヨーカドー南側

